

トルコ

主要データ

| | |
|----------------------------------|--|
| 国名(英名) | トルコ共和国(Republic of Turkey) |
| 面積(km ²) | 783,562 |
| 海岸線延長(km) | 7,200 |
| 人口(百万人) | 76.8 |
| 人口密度(人/km ²) | 98.0 |
| GDP(百万人) | 729,983 |
| 一人当り GDP(US\$) | 10,479 |
| 一人当り銅使用量(kg/人) | 4.9 |
| 主要鉱産物：鉱石(千 t) | 銅:70.6、鉛:19.0、亜鉛:47.6、ボーキサイト:768.0、クロム:2,000 |
| 主要鉱産物：地金(千 t) | 銅:89.1、鉛:9.0、アルミニウム:61.8 |
| 鉱業管轄官庁 | エネルギー・天然資源省(Ministry of Energy and Natural Resources) |
| 鉱業関連政府機関 | 鉱物探鉱調査総局(General Directorate of Mineral Exploration and Research, MTA) |
| 鉱業法 | 鉱業法(2005年2月発効) |
| ロイヤルティ | 2~4%(鉱物によって異なる。また、鉱床が森林地域にある場合はロイヤルティは33%増、処理施設が併設されている場合は50%減となる。) |
| 外資法 | 鉱業にかかる外資規制なし。 |
| 環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等) | 環境影響評価法(2002年6月6日施行、法 No. 24777) |
| 鉱業公社 | NA |
| 鉱業活動中の民間企業 | Inmet Mining、European Nickel、Eldorado Gold |
| 近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等) | 環境問題を訴因とする NGO 等による訴訟案件が増加している。 |
| 2008年のトピックス | 2004年の鉱業法改正や金属市況を背景に、トルコでは様々な非鉄金属プロジェクトが進められ、外資による探鉱活動も活発化している。他方、環境 NGO の活動の活発化、政府の環境規制強化の動きが見られ、鉱山会社にも影響を及ぼしている。 2008年中に鉱業法の見直しを実施され、その後の制度改正により環境関連規制との整合が図られる見込み。 |

1. 鉱業一般概況

2004年の鉱業法改正による外資も含め投資環境の改善が奏功し、ベースメタル、貴金属の探鉱活動は活発化している。

特に金探鉱が活発化しており、Teck Cominco、Odyssey Resource(加)他が探鉱を実施中である。また、ベースメタルについては、既に Inmet Mining(加)が Cayeli 銅山を操業中であるが、他にも探鉱プロジェクトをするほか、銅を中心に Rio Tinto 他外国企業による探鉱も行われてい

る。

トルコ初のニッケル鉱山、European Nickel 社(英)の Caldag ニッケル鉱山では、2007年から鉱石生産が開始されている。他方、環境問題に関連して、規制の強化や環境 NGO の活動の活発化が見られるようになってきている。NGO の訴えによる裁判所の決定で鉱山操業が停止される事態も生じている。2007年には環境アセスメントの不備を理由として、同国を代表する金山である Kisladag が裁判所より操業停止を命じられ

たほか、2008年3月には、Inmet Mining(加)が開発中の Cerattepe 銅鉱床プロジェクトも環境 NGO の訴えにより、県の行政裁判所より中止命令が出され、現在、係争中となっている。

また、新たな環境規制(2007年に導入された森林区域内での開発行為にかかる規制。後述。)の許可手続のため Caldag ニッケル・プロジェクトの遅延なども生じている。なお、同プロジェクトは2009年2月、同制度の最終的な許可を取得した。

なお、将来のトルコの経済体制に大きな影響を与える要素として EU 加盟問題が挙げられる。トルコ政府は、EU 加盟を政策のトップ・プライオリティに挙げている。加盟交渉は2005年10月に開始され、2006年10月には全分野の予備交渉は終了したが、キプロスとの連合協定拡大適用を巡って欧州委員会との対立が残っているため、本格交渉の一部が凍結されるなど先行きは不透明となっている。最新の交渉は2008年12月に行われた。

また、トルコ経済は2006年以降、資源価格高騰を背景にやや減速傾向にあったが、2008年秋以降、国際金融危機の影響で、トルコ経済は大幅に減速している。GDP成長率は2007年の4.7%に対し、2008年は通年で1.1%となった。こうした中、過去の経済危機に対応した IMF 融資を受けるための IMF とのスタンバイ協定は2008年5月に終了したものの、今回の危機に対応するため2009年1月には再度 IMF ミッションが訪問し、新たな協定合意に向けて調整を進めている。

2. 鉱業政策の主な動き

- トルコでは、2004年に鉱業法と付加価値税法が改正され、新鉱業法は、2005年2月に施行されている。鉱業権の付与、その他制度

運用は、エネルギー・鉱物資源省の一部門である GDMA(The General Directorate of Mining Affairs)が管理する。鉱業権は外資であってもトルコ国内法に基づき設立されたトルコ法人であれば国内資本の法人同様に取得できる。

- 付加価値税法の改正は、金・銀鉱業について、探鉱・開発・機材購入・操業・製精錬に係る付加価値税を免除するものである。いずれも鉱業活動を促進するものと評価されているが、付加価値税に関しては、国内の Istanbul Gold Refinery で精錬される分については免除対象とならなかったため、実質的に事業者は国外で精錬することを強いられてきた。しかしながら、2009年2月に本制度は改正され、Istanbul Gold Refinery での精錬分も免除対象となった。
- 他方、環境規制は強化されており、鉱山操業にも影響を及ぼしている。2007年12月、トルコ政府は、森林区域内で活動を行う鉱業など土地利用を行う企業に対し、事業終了時に土地の回復措置を義務化する新法を公布した。既に森林区域内で鉱業権を取得して探鉱・開発を行っている鉱山会社も、この法律により、閉山計画を策定し、環境森林省の承認を受けることが必要となった。
- こうした中、2009年1月、トルコ憲法裁判所は、2009年中に鉱業法の見直しを行うことを求める決定をした。その趣旨は、探鉱・開発と、これにかかる環境関係許認可の整合性を確保することにある。鉱業開発の規制と環境関連規制の不整合が、これまでの訴訟等環境関連の係争の一因ともなっていることから、今回の見直しにより整合が図られることは、鉱業事業者にも歓迎されるものと見られている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 1. トルコの鉱石生産量

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2008年増減比(%) |
|--------|---------|---------|---------|-------------|
| 銅 | 57.2 | 65.3 | 70.6 | 8.1 |
| 鉛 | 14.0 | 14.0 | 19.0 | 35.7 |
| 亜鉛 | 17.5 | 46.2 | 47.6 | 3.0 |
| ニッケル | 2.6 | 0.6 | 0.0 | -100.0 |
| ボーキサイト | 771.2 | 880.7 | 768.0 | -12.8 |
| クロム | 1,000.0 | 1,700.0 | 2,000.0 | 17.6 |

(出典：World Metal Statistics 2009)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 2. トルコの地金生産量

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2008年増減比(%) |
|--------|-------|-------|-------|-------------|
| 銅 | 105.8 | 103.0 | 89.1 | -13.5 |
| 鉛 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 0.0 |
| アルミニウム | 60.0 | 63.4 | 61.8 | -2.5 |

(出典：World Metal Statistics 2009)

(3) 主要非鉄金属消費量

表 3. トルコの金属地金消費量

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2008年増減比(%) |
|--------|-------|-------|-------|-------------|
| 銅 | 301.9 | 390.7 | 376.6 | -3.6 |
| 鉛 | 63.1 | 90.4 | 80.3 | -11.2 |
| 亜鉛 | 140.0 | 136.8 | 147.0 | 7.5 |
| 錫 | 1.1 | 2.4 | 2.4 | 0.0 |
| アルミニウム | 433.0 | 555.2 | 575.5 | 3.7 |
| ニッケル | 1.4 | 0.7 | 3.7 | 428.6 |

(出典：World Metal Statistics 2009)

(4) 主要非鉄金属輸出量

表 4. トルコの金属精鉱及び地金輸出量

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2008年増減比(%) | 主な輸出相手国 |
|----------|-------|-------|-------|-------------|---------|
| 銅鉱 | 17.1 | 70.7 | 63.0 | -10.9 | |
| 粗銅 | 5.4 | 5.9 | 34.7 | 488.1 | |
| 亜鉛地金 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 100.0 | |
| アルミニウム地金 | 19.1 | 60.6 | 60.9 | 0.5 | |

(出典：World Metal Statistics 2009)

(5) 主要非鉄金属輸入量

表 5. トルコの金属精鉱及び地金輸入量

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2006 年 | 2007 年 | 2008 年 | 2008 年増減比 (%) | 主な輸入相手国 |
|------|--------|--------|--------|---------------|---------|
| 粗銅 | 24.7 | 34.4 | 38.1 | 10.8 | |
| 銅地金 | 150.4 | 288.1 | 287.7 | -0.1 | |
| 鉛地金 | 54.2 | 82.2 | 72.0 | -12.4 | |
| 亜鉛地金 | 72.9 | 136.9 | 147.2 | 7.5 | |

(出典：World Metal Statistics 2009)

4. 鉱山・製錬所状況

表 6. 鉱山一覧

| 鉱山名 | 権益所有企業 (権益：%) | 鉱種 | 生産量 (千 t) | 備考 |
|---------------------|--|-----------------|--------------------|---|
| Cayeli | Inmet Mining(加)(100%) | 銅 | 32.7 | ・操業会社は Cayeli Bakir Isletmeleri 社(Inmet 100% 子会社) ・生産量：2008 年 |
| | | 亜鉛 | 47.6 | |
| | | 金 | - | |
| | | 銀 | - | |
| Caldag | European Nickel(英)(80%) Jiangxi Rare Earth & Rare Metals(中)(20%) | ニッケル | 20.4 | ・トルコ初のニッケル鉱山。 2007 年鉱石生産開始。 ・2009 年半ばからヒープリ ーニングによる鉱石処理・本格 生産開始予定。 ・2008 年末、中国 Jiangxi 社 が、プロジェクトの 20%を 買収。 ・生産量：2008 年 |
| | | コバルト | 1.2 | |
| (東アナトリア 地域他) | ETI Krom(トルコ) (100%) | クロム (フェロクロム) | | ・元は国営のクロム生産公社。 国内に 27 クロム鉱山(750 千 t/年の生産能力)を有する。 |
| Bursa-Kutahya 地域 | Cevikler Mermer San(トルコ) (100%) | クロム精鉱 | | ・国内 2 位のクロム生産者。 |
| Kisladag | Eldorad Gold(加)(100%) | 金 | 190 千 oz (5.9t) | ・2006 年生産開始。 ・生産量：2008 年 |

5. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 7. トルコの日本への精鉱及び地金輸出力

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2006 年 | 2007 年 | 2008 年 | 2008/2007 (%) |
|---------|--------|--------|--------|---------------|
| 銅鉱石 | 35 | 19 | - | - |
| 亜鉛鉱石 | 11 | - | 11 | - |
| クロム鉱石 | 5 | 4 | 3 | 75 |
| フェロクロム | 1 | 3 | - | - |
| 金地金(kg) | 10 | - | - | - |

(出典：国際非鉄研究会資料、財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等
特になし。

6. その他のトピックス

下記のようなメジャー及びジュニア企業による探鉱活動が行われている。

① Anatolia(加)とRio Tinto

Anatolia Mineral Development 社(加)は、単独で Copler 金プロジェクトを実施しているほか、Rio Tinto とも JV を実施している。

② Ariana Resources(英)

トルコ国内で開発中の Sındirgi 金プロジェクトのほか3件の探鉱プロジェクトを有す。

2008年4月、Odyssey Resources 社(加)が実施してきた Tavsan 金鉱区の金プロジェクトを買収した。

③ Tech Cominco

Teck Cominco は、トルコ国内で 11 件の探査鉱区を有し、Odyssey 社、Fronteer Development 社、Mediterranean Resources 社他、様々なジュニア企業と JV を行っている。

④ Nuinsco Resources(加)

トルコ東部の Berta 銅探鉱プロジェクト、Elmalaan 銅・亜鉛プロジェクトを保有している。



(凡例) ◆ 金 ◆ 銅

図 1. トルコの主要鉱山位置図

(2008. 5/ロンドン事務所 及川 洋)